



札幌市姉妹都市交流少年交流事業

# 韓国 大田広域市派遣

Dispatched to Deajeon Metropolitan City in Korea

中学2年 長尾知香

## この事業に参加した動機 Motivation to participate in this project

日本とは違う他国のことについて興味を持ち、同じ東アジアで隣国でもある韓国について知ることが多い機会だと思ったから

幼少期から国名や言語を覚えるのが好きで、将来的にマルチリンガルになって自分の言葉で世界の人と話し、世界をもっと豊かに出来る仕事に就きたいから

## 韓国での体験 What I experienced in Korea



ここは、茂朱群(ムジュ) 早子館にあるテコンドーの会場です。テコンドーは韓国の国技に制定されていて、とても馴染みのあるスポーツだと思います。テコンドーは跆拳道とも言われていて、「跆」は踏む・蹴る・跳ぶなどの足技、「拳」は突く・叩く・受けるなどの手技、「道」は武道を意味しているそうです。

この大会では韓国人だけではなく、中国人など他国のひとも出場していました。日本の空手と柔道が混ざったような印象がありました。

## 食事 Food



これは繁華街の銀杏洞(ウネンドン)은행동にあるトッポッキ食べ放題のお店でトウッキ(トゥッキ)といいます。トッポッキの餅にも何種類かあって、タレにも種類がありました。トウッキにはインスタラーメンやスンドゥなどその他の伝統料理もありました。トッポッキは意外と癖のある感じで私はあまり好んでは食べませんでした。チェヨンも食べ終わった後にお母さんに「トッポッキ美味しかった？」と韓国語で聞かれていましたが、美味しくなかったと言っていたので、口に合う人と合わない人が韓国でもいるのだな、と思いました。



これは冷麺で、私は韓国にいるとき、2回冷麺を食べました。韓国の冷麺には食べ方があって、冷麺と一緒にさしみも置いてくれるのでぐるぐるにまかされている麺を四分分割して切ってから食べます。そして自分の好みに合わせて辛味や酢を足していく感じでした。2回冷麺を食べましたが、麺の種類が一回目と二回目で違いました。写真は二回目です。一回目の麺は少し灰色の麺でした。

## 生活の違い Difference in life

日本と韓国では似ていて違うところがありました。



まず、ご飯を食べるときの挨拶です。

日本では食べる前にいただきます、食べ終わった後にごちそうさまでしたと言うのが基本ですが、韓国ではごちそうさまでしたしか言っていませんでした。

次に交通です。

車は左ハンドルで道路は右車線です。日本と比べると運転が荒いような感じがしました。

食事をするときの食器などに関しては、ステンレスが多かったです。もちろん日本で使っているような食器もありましたが、ステンレスは昔から使っている伝統的な食器らしいです。日本に比べて箸やスプーンなどの柄の部分の部分が長いような感じがしました。

そして最後に一番驚いたのは家でお風呂に入る習慣がなかったことです。私のホームステイ先だけに限らず、韓国の家はトイレとシャワーが一緒になっていて、日本人としては別々のほうがありがたいと思いましたが、これもまた韓国の特徴として捉えることができました。また浴槽はありますが、日本みたくあらかじめ設置されているのではなく、置いてあるだけ、みたいな感じがしました。

## ホームステイを終えて After the homestay



私は今回のホームステイを終えて、韓国の食事、伝統、歴史について深く知ることができました。ホストファミリーは日本語が喋れないので英語と韓国語だけでコミュニケーションをとるのはとても難しく、通じないこともたびたびありましたが、とてもいい経験になりました。日本と韓国は似ているようで似ていなかったりして新しい発見がたくさんありました。私たちが

ホームステイした時期はちょうど両国の関係があまり思わしくない時期に行きましたが、韓国人は比較的日本に対して何かを思っているわけでもなく、ごく稀に反日はいるそうですが、日本という国に対しては友好的だ、と言っていました。

私はいつか世界の人々が手を繋いで友好な関係を結べる日がきたらいいなと思います。それを実現させるためには、まずは自分で自分自身の意思を伝えられないといけないので、そのためへの最善の努力をしようと思います。私自身がいろいろな事に挑戦して明るい笑顔溢れる未来への架け橋になりたいと思います。

また、この経験をいかして、英語と韓国語の勉強にもより一層励みたいと思います